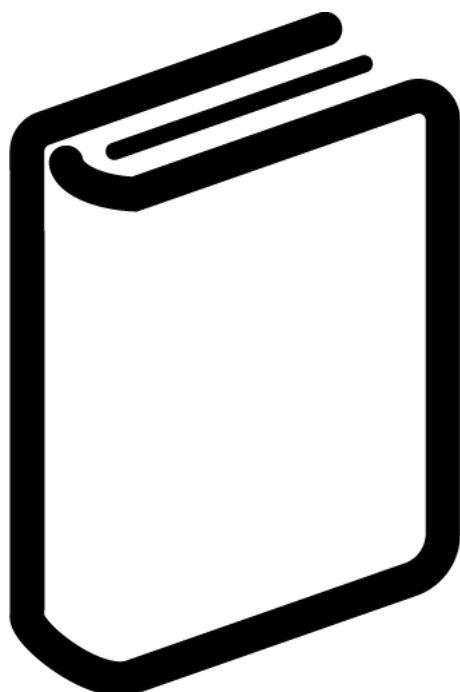


# Guidelines of participation

## 大会参加ガイドライン V2



# High School Japan Cup 2020

## 大会参加ガイドライン V1

High School Japan Cup 2020（以下、「本大会」）に参加する全ての選手、コーチ、チームスタッフ、大会役員、大会スタッフ、大会ボランティア、報道関係者（以下、「参加者」）は、High School Japan Cup 2020 実行委員会（以下、「実行委員会」）による本ガイドラインを遵守しなければなりません。全ての参加者は、本ガイドライン遵守に同意することにより、会場内へのアクセスが許可されます。

本ガイドラインは、開催日までアップデートされ続け、参加者は将来のアップデートについても承諾する必要があります。

### 1. 事前スクリーニング

#### (1) 本大会開催前のセルフチェックと記録

全ての参加者は 15 日前から体温および体調の記録をしなければいけません。その結果、実行委員会が指定する基準を満たさない場合は、すぐに実行委員会に連絡しなければいけません。この場合、すぐに大会に参加できないわけではなく、実行委員会安全対策チームによるモニタリングを行い、参加可否を慎重に判断します。

開催前セルフチェックのための記録用紙は後日配布します。(9/1 配布開始予定)

#### (2) 入場前メディカルチェック

本大会では、会場入場前に、メディカルチェックを参加者全員が受ける必要があります。対象は参加する全ての選手、コーチ、チームスタッフ、大会役員、大会スタッフ、大会ボランティア、報道関係者など、会場内に入場する全ての人です。メディカルチェックの詳細は後日公開予定です。

なお、検査を行うことを拒否する、または健康上、精神上、また宗教上など、理由を問わず、血液採取および検査が実施できない場合、例外なく大会参加はできません。また、予約された宿泊もキャンセルとなり、所定のキャンセル料をお支払いいただく必要があります。検査実施に同意できない場合は、大会出場エントリーをしないようご注意ください。

#### (3) 会場入場と検温

会場では、メインエントランス等にて、AD カード確認と、体温検査を行います。体温検査はサーモグラフィー等によって非接触検査を行います。実行委員会が設定した温度以上の体温が検出された場合、係員によって再検査を行います。結果によっては医師の診察を受けてもらい、その後

の入場ができない場合があります。この場合、後述のとおり、ADカードが無効化されます。

## 2. アクレディテーションカード（ADカード）

ADカードは、本大会内での通行証、資格記録、食事引き換え、オフィシャル輸送パスなど、様々な機能を有しています。

※ADカードを所持していない方は、参加者との関係性や理由の如何を問わず、会場内には入場することができません。

※他人のADカードを使用してゲートを通行したり、その機能を利用した場合、貸した人、借りた人ともに本大会から追放します。

### (1) カードの受け取りと有効化

会場に到着したら、まず会場外のテントにあるADカードデスクに来てください。カードは学校単位などでまとめて渡したり、代理人に渡すことはできません。必ず本人が受け取りに来てください。受け取りには身分証明書（学生証、運転免許証、パスポート、健康保険証など）が必要です。

お渡ししたADカードは無効の状態です。受け取り次第、ADカードデスク隣のメディカルチェックブースに向かってください。

メディカルチェック後に、係員がADカード情報を有効化し、カードにホログラムステッカーを貼ります。これによってこのADカードをお持ちの人は会場内に入場できます。有効化されていないカードで入場しようとする、ゲートでエラーとなり、入場できません。

### (2) カードの取り扱い

ADカードは常に携帯し、絶対に紛失や他人に貸与、譲渡などをしてはいけません。ADカードにはNFCチップが搭載されていますので、折り曲げ、加熱、圧縮などのダメージを与えないでください。

### (3) 紛失・破損時の対応

ADカードを紛失または破損した際はすぐにADカードデスクに連絡、または大会オフィシャルLINEアカウントに連絡してください。ADカードデスクで再発行ができます。ADカードが無い状態では、会場内に入場できず、試合にも出ることができません。

紛失または、故意・不注意で破損した場合は、再発行手数料2,000円をお支払いいただく必要があります。カードの自然故障や初期不良によるトラブル時には無料で再発行いたします。

## 3. 宿泊施設・オフィシャル輸送での行動

本大会参加者は自宅からの通いを除き、実行委員会が指定する宿泊施設に滞在する必要があります。指定の宿泊施設は本大会および実行委員会の衛生ガイドラインを満たしています。指定外の宿泊施設

を利用の場合、大会出場資格の取り消しなどの可能性がありますので、ご注意ください。またやむを得ない事情がある場合は事前に実行委員会にご相談ください。

#### (1) オフィシャル輸送

宿泊施設と会場間は、バスによる輸送サービスを利用できます。輸送サービスの利用は無料ですが、乗車にはADカード（TOまたはTAのマークがあるもの）が必要となります。

#### (2) 宿泊施設での注意事項

宿泊施設内では、各宿泊施設で配布される案内をよく読んでください。また、各種利用ルールを遵守してください。

### 4. 会場内での行動

#### (1) ゾーンと行動範囲

会場内は、いくつかのゾーンに分かれています。ADカードの種類によってアクセスできるゾーンが異なります。これはカード表面の番号と、裏面の説明によって表現されています。指定のゾーン以外への入場はしてはいけません。

#### (2) コールの方法（レポーティング）

大会当日のコールは、オンラインで行います。詳細は後日お知らせします。

#### (3) 基本的な行動

ゾーンの出入口には、NFC読み取り端末が設置されている場合があります。ここでは、必ずカードのタッチをしてください。カードのタッチをしない、または係員の指示に従わない場合、参加資格を取り消す場合があります。

#### (4) 禁止事項

本ガイドライン記載の事項、また、大会スタッフ、係員等からの指示に従わない行為等が確認された場合は、後述の罰則を適用します。

### 5. 用具について（選手のみ）

#### (1) 用具検査の方法と対象用具

用具検査は、検査員の安全確保の観点から、選手の安全および競技上必要な最小限の検査のみを行います。検査結果は、データベースに記録され、メイン会場（FOP）入場ゲートで毎回検査結果の照合を行い、すべての必要な検査が完了している選手のみがFOPに入場できます。

なお、通常の検査と同様に、検査完了した用具にはマーキングを行います。検査を受けていない用具のメイン会場への持ち込みや使用は厳禁で、判明した場合には、参加資格の取り消しなど、重大な罰則を付与します。

#### 検査対象用具

- ・マスク（最大2個）\*FIE1600NW, 二重のベルクロをもつ安全バンドが必要。
- ・ユニフォーム上下（最大各2着）\*FIE800NW
- ・プロテクター（最大2着）\*FIE800NW
- ・グローブ（最大2個）\*サーブルのみ FIE800NW
- ・剣（最大4本）\*フルーレ、エペは FIE 規格、サーブルは S2000 規格 であること。
- ・メタルジャケット

#### ボディコードについて

ボディコードおよびマスクコードは混雑緩和のために、検査を実施しません。しかし、競技進行上、ボディコードの信頼性は重要です。そのため、会場内に、ボディコード検査ブースを設置しますので、必ず各自で検査を行い、問題なく動作することを確認してください。

#### 用具規則の一部緩和について

- ・透明コネクタボディワイヤーは必須ではありません。

#### (2) 会場内での検査

会場内での検査マークの確認は原則行いませんが、検査が全て完了している選手しかメイン会場に入場できません。ピスト上ではポイント重り検査のみ実施します。

#### (3) ワイヤレスシステムについて

本大会では、全てのピストでワイヤレスシステムを使用します。選手が使用する POCKET BOX（トランスミッタ）は精密機械です。取り扱いには注意してください。

#### 6. 駐車場の利用について

競技会場および宿泊施設の駐車場利用には事前の申請が必要です。

大会ウェブサイト内「各種規程・申請」ページの「駐車場利用申請フォーム」から事前登録をしてください。（近日中に受付開始予定）

※概ね全ての駐車場リクエストに対応できる見込みですが、収容可能台数を超える場合には抽選となります。

※利用申請後、実行委員会から2～3週間程度でメールにて送付される駐車許可証（PPカード）をプリントアウトし、駐車時に自動車のダッシュボード上に外部から確認できるように提示しなければいけません。